

## 8/28 使徒の働き 18章 24—28節「すべての教会も感謝して」

小池 宏明 牧師

今日は、使徒パウロと共に、伝道の働きに身をささげたアキラとプリスキラ夫妻に注目する。二人は、パウロだけではなく、多くの伝道者を支えながら各地で主のわざに励んだ。

### \*雄弁なアポロを正して送り出す二人

今回取り上げる聖書箇所では、アキラとプリスキラがエペソに滞在している時に、雄弁な伝道者アポロを助けた出来事が記されている。26節では、二人が、アポロが語る福音に修正することがあることに気付いて、より正確な福音理解へと正している。「彼（アポロ）は会堂で大胆に語り始めた。それを聞いたプリスキラとアキラは、彼をわきに呼んで、神の道をもっと正確に説明した。」二人は、信仰深く、聖書をよく学び、そして伝道者を謙遜に励ますことのできる人たちだった。また、アポロが、アカイア州（コリントやアテネ）に渡りたいと思った時には、アキラとプリスキラが、彼に手紙（推薦状）を持たせて送り出したのだ。二人が、不十分な福音理解であった伝道者アポロを頭ごなしに批判していたら、アカイア州にアポロが遣わされて行くこともなかっただろう。その後、アキラとプリスキラ夫妻は、ローマからコリント、コリントからエペソ、そしてエペソからローマ、さらにローマからエペソと引越しながら、諸教会で仕えた。その他にも記録されていなくても、各地の「家の教会」で良き証しを立てただろう。特に、彼ら夫婦は、パウロのためにいのちの危険も顧みずに、パウロを助けたという。異邦人も含めてすべての教会が二人に感謝しているという（ローマ 16章 4節）。

### \*教師も信徒も同じ目的を共有して全力で

このようなアキラとプリスキラから教えられることは、第一に、どこに行っても、どんな環境に置かれても、この世に流される事無く福音の真理にしっかりと立って、真理の御ことばに留まり続ける姿である。第二に、人に着くことなく、主イエス・キリストの弟子として行動する姿である。二人は、最初パウロに出会って、ずっと一緒に行動したわけではない。それは、彼らはパウロの弟子ではなく、キリストの弟子として生きるという自覚がはっきりしていたからだと思う。私たち、キリストを頭とする教会は、教師だから信徒だからと区別することなく、福音の証し人として、同じ目的をもって、全力を尽くして、主なるイエス様にお仕えする者でありたい。